

No.1 コロナ禍新しい言葉定着

文化庁は24日、2020年度の国語に関する世論調査の結果を公表した。新型コロナウイルスに関連して行われる言葉について尋ねたところ、「不要不急」「3密」「ステイホーム」などは6割以上が「そのまま使うのがいい」とした一方、「ウィズコロナ」は3割にとどまった。言葉の意味では「がぜん」「破天荒」を6割以上が本来と違う意味で理解していた。

文化庁は「感染拡大で他にも『人流』といった耳慣れない言葉が広がっている。これほど多くの新しい言葉が日常で交わされるようになるのは、まれなことだ」と説明している。また、カタカナ語は年代が上がるほど定着されない傾向にあるので、「場面や相手に応じて説明を加えるなど、伝え方に留意してほしい」としている。

文化庁の20年度国語世論調査

言葉	そのまま使うのがいい	説明を付けた方がいい
不要不急	67.2%	24.0%
コロナ禍	66.8%	21.8%
3密	61.1%	30.8%
ステイホーム	61.1%	23.9%
濃厚接触	58.9%	28.2%
ソーシャルディスタンス	56.5%	27.5%
クラスター	61.3%	34.9%
ウィズコロナ	29.7%	40.1%

言葉	意味	割合
がぜん	とても、断然	67.0%
破天荒	急に、突然	23.6%
すべてからく	★だれも成し得なかったことをすること	23.3%
すべからく	豪快で大胆な様子	65.4%
すべからく	すべて、皆	32.1%
すべからく	★当然、是非とも	54.8%
知られていなかったことが世間に知られること	明るみになる	43.0%
知られていなかったことが世間に知られること	★明るみに出る	44.1%
わずかの時間も無駄にしない様子	寸暇を惜しみます	43.5%
わずかの時間も無駄にしない様子	★寸暇を惜しんで	38.1%
快く承諾すること	一つ返事	37.4%
快く承諾すること	★二つ返事	52.4%



(2021.9.25 長崎新聞記事)

N: コロナウイルスによって、私たち人間の生活が大きく変わりました。それに関わる言葉も多く聞かれるようになりました。この記事を読んで「がぜん」はあまり使わないのですが、本来の意味と違って使われていることに驚きと恥ずかしさを感じました。

K先生: 言葉は時代と共に変わりゆくものなんじゃ！これから感染状況次第で新しい言葉が生まれ、消えていくのじゃろう。言葉の意味には注意して使いたいもんじゃね。ちなみに、外国語も同じじゃ！英語の数百年前のものは、ワシにも理解できんのだよ。(笑)最近よく使う「映える」の新語は「instagrammable」(インスタグラマブル)と現すのだが、辞書にはまだ載っとらん単語なんじゃ！

N: 言葉の生み出す楽しさと定着からの伝え方の難しさを感じました。

K先生: これに関わらず、世の中に目を向けることが大事なんじゃぞ。

N: 先生ありがとうございます。今回こんな本を手に入れました。ウイルスとヒトの「共生による進化」の歴史をたどりながら、「ヒトゲノムは、一体どんな力によって今のように進化したのか」を探る本です。次回はヒトゲノムについて、先生のお話を聞かせてください。



「破壊する創造者 - ウイルスがヒトを進化させた -」
フランク・ライアン(著)、夏目大(訳)、早川書房

No.2 女性の起業 支援広がる

ダイバーシティ(多様性)を重視する流れを受け、産業界で女性の起業を支援する動きが広がっている。女性が設立したベンチャー企業に資金を提供する事業会社や投資ファンドが相次ぎ登場。女性ならではの視点を活かした製品やサービスが増えれば、日本経済全体の活性化につながるなどの期待もある。

女性向けオンラインゲーム開発のコリーは、1社当たり最大で数千万円を支援し、経営への助言や人材紹介、オフィスも提供する。

「フェムテック」と呼ばれる、女性の健康の悩みを最新技術で解決する製品やサービスの市場拡大が起業支援の追い風になっている。女性の進出を促す効果も期待できるため、政府も強い関心を寄せる。

これまで日本は、海外に比べて女性起業家の数が圧倒的に少ないのが課題だった。米マスターカードが昨年発表した女性の起業しやすさを示す指数ランキングで、日本は同じアジアのタイ(11位)や台湾(12位)と比べても大きく見劣りしている。同社は、新型コロナウイルスの流行を踏まえ「持続的な経済回復を進める上で、起業の男女格差を縮小する必要性が一段と増している」と指摘した。

女性起業支援の取り組み

コリー	ゲーム開発会社 女性が設立したベンチャー企業などに1社当たり最大で数千万円支援
EMPOWER PARTNERS FUND	投資会社 多様性や環境などESGを重視しながらベンチャー投資を実行
ANRI	投資会社 投資先の2割以上を女性が設立したベンチャー企業に割り当て
経済産業省	女性の悩みを解決する「フェムテック」関連の事業者に補助金

女性起業家指数ランキング

- イスラエル
- 米国
- スイス
- ニュージーランド
- ポーランド
- 英国
- カナダ
- スウェーデン
- オーストラリア
- スペイン
- 日本



(2021.10.4 長崎新聞記事)

N: 共働きが当たり前になり、働く女性が多くなりました。五島の職場は、正規よりパートやアルバイトの非正規が多いように思います。なぜ、女性起業家が支援を受けられるのでしょうか？

K先生: 政府の女性活躍推進政策もあって、女性起業家支援が活発になったんじゃ。企業や経済社会で女性をはじめとする多様な人材が、その能力を最大限発揮できるように支援することが大事だと考えているんじゃよ。

では、女性の社会進出によって起こる課題は何か分かるかの？

N: 女性が働き続ける上で、出産・育児・介護などのライフイベントとの両立だと思います。

K先生: そうじゃ！まだあるが、女性活躍の一番の壁は「社会意識」にあるんじゃ。もう一つ質問じゃ！多様性がどのように経済の活性化につながるか推測できるかの？ヒントはSDGsじゃ！答えは時間がないので、Nさんの宿題としよう！

N: はい！先生ありがとうございます。島も人口が増え、みんなが豊かに暮らせるようになりたいと思いました。そして自分自身、想像や探求心に溢れたいと思いました。そこで図書館にこんな本があったので、読んでみたいと思います。

「女子のキャリア <男社会>のしくみ、教えます」
海老原嗣生(著)、筑摩書房

